

頭痛に使える漢方薬

頭が痛いからと解熱鎮痛剤を飲む人がいます。
一時的に症状は良くなります。

根本的な原因が治らない限り、解熱鎮痛剤を
飲み続けることとなります(怖い)。

1日3回、1回1錠ずつ2週間解熱鎮痛剤を飲むと、
飲んでいない人に比べて心血管イベント(心臓の血管のトラブル)が
有意に起こるというデータがあります。

たまに飲むのは安全ですが、ダラダラと飲み続けるのは危険です。
では、頭痛の原因別に考えてみましょう。



(1) 葛根湯(かっこんとう)

首の後ろがこって、肩こり・頭痛がおこるときに有効です。
首を縦に動かしてみ、首の後ろがこる方に使います。
1回2包(初回)、以降1包ずつ飲みます。



(17) 五苓散(ごれいさん)

低気圧が近づくと頭痛がおこる人に使います。
めまい、乗り物酔いを伴う人にも有効です。
1回2包(初回)、以降1包ずつ飲みます。



(31) 呉茱萸湯(ごしゅゆとう)

冷えて、吐き気を伴う頭痛、片頭痛に使います。
頭痛の直前に目の前がチカチカとする人に有効です。
1回2包(初回)、以降1包ずつ飲みます。



(124) 川芎茶調散(せんきゅうちゃちょうさん)

カゼをひいた時の頭痛、月経関連片頭痛に有効です。
1回2包(初回)、以降1包ずつ飲みます。



(38) 当帰四逆加呉茱萸生姜湯 (とうきしぎやくかごしゅゆしょうきょうとう)

冷えて頭痛、腰痛、腹痛がおこる人に有効です。
しもやけによく効きます。
1回1包、1日3回で飲みます。



(47) 釣藤散(ちょうとうさん)

高齢者の方で、朝起きると頭が痛い人に有効です。
頭の血流を良くすることで、症状が軽快します。
1回1包、1日3回で飲みます。



(24) 加味逍遙散(かみしょうようさん)

月経前後になるとイライラして頭痛がおこる人に有効です。
1回1包、1日3回で飲みます。



コメント

1人の人間が1つの頭痛を持っているのではなく、いろいろなタイプの
頭痛を持ちあわせていると考えています。
こういう時の頭痛には、この漢方薬を飲むと効く! というように場面場面
で試していただくことが大切です。
するとうまく漢方薬を使い分け出来るようになります。是非お試しください。

最近の外来状況

スギ花粉症がピークを越え、ヒノキ花粉症の方が増えています。
1ヶ月前に比べれば、症状が強くて生活に困る方は、ずいぶん減りました。
朝夕と昼の温度差が激しいため、鼻カゼ、咳のカゼをひきやすいようです。
高熱を伴うようなカゼをひいている方は数えるほどしかおられません。
すでに新学期疲れのお子さんが見られます。
環境の変化、緊張によって腹痛、全身倦怠感を訴えています。
大人も仕事の配置変え、上司が変わったことで体調を崩している方がいます。
軽い抑うつ状態になって休職を余儀なくされている方は増えています。

お知らせ

小児夜間急病センター当番日

5月13日(金) 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院

休診のお知らせ

5月14日(土) 学会に参加するため休診します。